

観測だより

通巻第 49 号 (1999)

巻頭言	1
神奈川県西部地域における 1998 (平成 10) 年の地震活動	2
神奈川県西部地域における地下水位観測結果 (1998)	9
第 19 回「なまずの会」研修会	17
「なまずの会」地下水位等観測結果 (1998)	22
地震日誌	43
大山のスギ巨木に見られた山崩れ災害の記録	47

平成 11 年 3 月

神奈川県温泉地学研究所報告編集規定

1. 神奈川県温泉地学研究所報告（略称神奈川温地研報告）は、当所における研究業績並びに県内の温泉、地下水、河川、湖沼、地震、地質等に関する資料で、当所談話会で発表し、編集委員会が適当と認めたものを掲載する。
2. 神奈川温地研報告は、原則として年1巻発行する。
3. 編集委員会委員長は、温泉地学研究所所長とする。
4. 編集委員会委員は、委員長が地震、地質、地下水、温泉、地球化学および経理の各部門から若干名を選任する。
5. 神奈川県温泉地学研究所観測だより（略称神奈川温地研観測だより）についても、この規定を準用する。

神奈川県温泉地学研究所編集委員会（平成10年度）

委員長 長瀬和雄（所長）

委員 大村総治（管理課長）

” 横山尚秀（研究部長）

” 大山正雄（地震）

” 栗屋徹（温泉）

” 石坂信之（地球化学）

” 伊東博（地震）

” *小沢清（地質）

” *官下雄次（地下水）

*編集幹事

この出版物に関するお問い合わせは、下記へ御連絡ください。

〒250 - 0031 小田原市入生田 586

神奈川県温泉地学研究所編集委員会

電話 0465 (23) 3588 FAX0465 (23) 3589

巻 頭 言

今年に入って、1月25日、南米コロンビアのアルメニア付近を震源に、M6.0の地震が発生し、その犠牲者は1,000人に達すると言われている。また、2月11日にはパキスタンのイスラマバード近郊を震源としてM5.5の地震が発生し、連日多くの犠牲者が新聞で報告されている。

毎年、地球上の地震多発帯で発生する地震で、多くの生命と財産が失われ、悲劇が繰り返されている。日本列島も、その地震多発地帯にすっぽり含まれていて、M5~6程度の地震は毎年いくつも日本のどこかで発生しており、日本国中どここの地域をとっても、大地震の危険にさらされていると言える。

地震の短期予知が出来れば、生命と財産の保全に大いに役立つ。しかし、現在の科学技術のレベルでは、“何時”、“何処で”、“どの程度の規模”の地震の3要素を、同時に、業務として警報を出せるほど、短期予知の精度は進んでいないと言われている。

「なまずの会」は、昭和51(1976)年に、全国の民間の方々の協力により、地震予知研究を目的に活動を開始し、その活動は今年で23年間に達した。この間に、宮城県沖地震(1978)、1989年伊豆東方沖群発地震他、いくつもの地震について、前兆現象を捕らえ、この分野で大きな貢献を果たしてきた。

現在、温泉地学研究所の地震研究部門は充実したが、それと相まって、その業務量が増加し、その処理に追われがちである。神奈川県西部地震の予知研究は研究所の最重点課題であり、その観測・研究活動は地域の防災情報として貢献している。

しかし、地震の短期予知の手法が確立されていない現在、民間の方々と協力し、地下水位観測などの貴重な資料から、予知情報を捕らえる活動は相変わらず非常に大切である。今後もこの取り口の研究を出来る限り大切にして、予知研究を推進していきたい。

平成11年3月

温泉地学研究所長
長瀬和雄

編集後記

「観測だより」は、1977（昭和 52）年に第 1 号を発刊し、今回で通巻第 49 号となりました。当初は、1976（昭和 53）年に発足した「なまずの会」の観測データを掲載し、わかりやすく説明することが目的でした。

これからの「観測だより」には、当所および「なまずの会」の観測データを解析するとともに、地震、火災等の自然災害に関する学術的な資料を掲載して、内容の充実に努めていきたいと考えています。

皆様の御意見をお寄せください。

編集幹事一同

お知らせ

神奈川県温泉地学研究所観測だよりは、従来、「神奈川県温泉地学研究所報告第 巻第 号」と表記され、併せて通巻 号と記載してきましたが、1996 年以降の通巻第 46 号からは、「神奈川県温泉地学研究所観測だより通巻第 号」と記載しております。

神奈川県温泉地学研究所

観測だより 通巻第 49 号（1999）

編集発行 神奈川県温泉地学研究所
〒250-0031
神奈川県小田原市入生田 5 8 6
電 話 (0465)23-3588（代）
F A X (0465)23-3589

印 刷 有限会社 石橋印刷
〒250-0863
神奈川県小田原市飯飯泉 1 0 3 3
電 話 (0465)47-9171（代）
F A X (0465)48-2411

BULLETIN OF THE HOT SPRINGS RESEARCH INSTITUTE
OF KANAGAWA PREFECTURE

C a t f i s h L e t t e r s

s e r . No.49

CONTENTS

Foreword	1
Seismic activity in the western part of Kanagawa Prefecture(1998)	2
Groundwater level changes in the western part of Kanagawa Prefecture(1998)	9
19 th Catfish club study meeting	17
Water level changes observation(1998)	22
Earthquake notes	43
Natural disaster scars on a gigantic cryptomeria in Mt. Oyama, Kanagawa Prefecture	47

HOT SPRINGS RESEARCH INSTITUTE OF KANAGAWA PREFECTURE
586 IRIUDA, ODAWARA, KANAGAWA, 250-0031, JAPAN
TEL +81-465-23-3588 FAX +81-465-23-3589

神奈川県

温泉地学研究所
〒250-0031 小田原市入生田 5 8 6
電 話 (0465)23-3588 (代)
F A X (0465)23-3589